

種別	名称	所在地	推薦理由・物語 (内容は認定当時。また文章表記は統一していません。悪しからずご了解ください。)	分類 1	分類 2	全体 通番	認定 年度	年度 通番
モノ	寿々家の鈴	足助町本町15	かつて足助の名料亭として名を馳せた「寿々家」の玄関横の軒先にかけてられている鈴。三つ葉葵の紋があり、いずれかの神社の鈴と推定されます。かつての屋号「鈴屋」に関連しているのか、現在はその意味や来歴が不明となっているところが面白いところです。	歴史	不思議	1	28	1
モノ	幸福稲荷	畝部西町屋敷51	幸福寺境内にあるため、「幸福」の字を冠したお稲荷さん。信仰対象としてではなく、名称として面白い。	歴史	不思議	2	28	2
モノ	宇都宮三郎墓所	畝部西町屋敷51	わが国初の化学技術者・宇都宮三郎の墓所。化学装置付きの棺桶で葬られていたり、墓所の前にある石灯籠が半田亀崎の醸造家たちの寄進であったり、近代日本の化学技術黎明期をけん引した人物の最期と、その物語をとよたにつなぐ場所となっていて面白い。	歴史	その他	3	28	3
モノ	前田公園	平戸橋町波岩	昭和4年(1929)に越戸村出身の前田栄次郎が計画・建設した観光用の公園。矢作川を望む景勝地に、聖観音菩薩像へ続く100段余りの階段を主軸として、先祖感謝の塔や逆さ五重塔、各種記念碑など、珍妙な構造物や、コンクリート製の三十三観音がある。	歴史	地域性	5	28	5
モノ	小馬寺の宝篋印塔	牛地町	生駒山の山頂付近の小馬寺境内にある宝篋印塔。後醍醐天皇の皇子・宗良親王の墓とも伝えられる苔むした宝篋印塔は、南朝方の宗良親王及び街道沿いに伝説を残す尹良親王の伝説等、昔日の姿を偲ばせる。	歴史	伝説	7	28	7
モノ	富永町のおびんずるさん	富永町	富永町が古くからおまつりしている仏像。かつては金の胎内仏があったとも伝えられている。一時小馬寺に預けていたが、小馬寺が荒れてきたころから再び集落にお迎えし、修理等も施して集落全体で大事にしている。	歴史	地域性	8	28	8
モノ	香嵐舎観光部の街路灯跡	足助町西町	表面に「香嵐舎観光部」の文字が見える街路灯の基礎部分。戦前には建てられていたと考えられ、足助が戦前から「観光」に対して意識を持っていたことを物語っている貴重な存在です。	歴史	地域性	9	28	9
モノ	家下川の人造石樋門(葭池樋門)	鴛鴨町葭池	明治用水の用水路が家下川を跨ぐためにつくられたトンネル。明治33年に造られており、人造石工法によるトンネルとしては現存最大級の規模。自然河川の上を人工用水が通り、さらその上を東名高速道路が通るといふ、水の立体交差が見られます。	歴史	建造物	10	28	10
モノ	足助のからくり小屋	足助町本町	足助の町並みの中通り沿いに、近所の浦野さんが訪れる人を楽しませるためにつくったからくり。素朴で温かみのあるからくりで老若男女の区別なく見た人の笑みを誘っています。季節や干支ごとに展示の入れ替えもされています。	活動	交流	11	28	11
モノ	雷石	保見町北山 (射穂神社境内)	式内社・射穂神社境内にある石英の大きな岩の露頭。木漏れ日の中で雷が光るように見える。一種のパワースポットともされている。	自然・景観	天然もの	13	28	13
モノ	旧郡界橋	連谷町	大正6年(1917)竣工。鉄筋コンクリートアーチ橋としては東海地方最古と考えられる。橋の長さ約24m・幅4m。アーチから路盤までの井桁が和風の雰囲気醸し出している。	歴史	建造物	15	28	15
モノ	旧ウルシゼ橋	川手町	国道257号線沿いの名倉川に架かる、大正7年(1918)竣工の鉄筋コンクリートアーチ橋。橋の長さ28m・幅約3m。橋を支えるアーチのカーブはやや扁平で、2本のアーチ同士の幅が、橋の中央部から端部にかけて開く複雑かつ優美な姿を見せています。	歴史	建造物	16	28	16
モノ	旧真弓橋	御所貝津町	大正8年(1919)竣工の鉄筋コンクリートアーチ橋。長さ20m・幅1.7m。	歴史	建造物	17	28	17
モノ	前橋	大野瀬町	大正8年(1919)竣工の鉄筋コンクリートアーチ橋。長さ16m・幅3.5m。深い弧を描くアーチに対して全体に小さな姿が印象的な橋。	歴史	建造物	18	28	18

モノ	旧稲武大橋	稲武町、武節町	大正15年(1926)竣工の鉄骨アーチ橋。細い部材を組み合わせて角張ったアーチが特徴的。	歴史	建造物	19	28	19
モノ	初代清市の法被	榊塚西町	野田味噌商店初代が着用していた法被。代々伝えて、創業者の心を大事にしています。	歴史	地域性	20	28	20
モノ	赤いキリン	榊塚西町	昭和20年代から蔵内で使用されていたガソリン給油機。手動ハンドルによるポンプくみ上げ式で、表示はガロン。進駐軍の払い下げ品と考えられ、旧海軍岡崎航空隊第三飛行場があった場所としての物語も伝えていきます。現在は夜間照明として活用されています。	歴史	地域性	21	28	21
モノ	灰宝神社の二宮金次郎像	越戸町松葉52	身の丈2.2mもあり、国内最大級の二宮金次郎石像と考えられます。地元出身の実業家・前田栄次郎氏の寄贈と推定されます。2本の足と1本の石柱で巨体を支えていて、そのバランスの妙も素晴らしいです。	歴史	地域性	24	28	24
モノ	鐘突き堂・長屋門・蔵	和会町上屋敷	古き良きもののコレクター石川氏が移築した建物群。個人の趣味で古き良き建物を残していくことは貴重です。	活動	収集	26	28	26
モノ	穂積橋三代の親柱	則定町	則定町を流れる巴川に架かる穂積橋は、明治31年竣工の初代から昭和62年竣工の現在の3代目までの親柱が、ほぼ同じ場所で見ることができます。新旧三代にわたる橋梁の歴史を、現存する親柱で観察できるという稀有にして珍妙な事態です。	歴史	建造物	33	29	3
モノ	農村舞台「寶栄座」	怒田沢町	市内に数ある農村舞台の中でも、回り舞台を備えた舞台は数少なく、その中でも寶栄座(明治30年建設)の回り舞台(大正11年設置)は、軸受け機構ではなく木製レールに輪を転がす他に例を見ない特異な装置となっています。	歴史	建造物	35	29	5
モノ	両国橋	小渡町一島崎町	昭和17年竣工の両国橋は、矢作川に架かる橋の中央で、左岸が桁橋・右岸がトラス橋と、同じ橋でありながら構造が異なっています。かつて左岸側の島崎町が岐阜県に属していた両国橋の名も、美濃と三河の二つの国に由来しています。	歴史	建造物	38	29	8
モノ	馬車組合が造立した馬頭観音石像	保見町他地内	大正～昭和の初めにかけて、市内各地にあった「馬車組合」が建立した馬頭観音石造。いずれも一般的な馬頭観音像よりも大きな像で、各地区の馬車組合の名称が刻まれています。記念碑的に同時期に建立された同様の石像が市内各地に分布しているのが面白いです。	歴史	建造物	39	29	9
モノ	金谷下開渠	金谷町1丁目地内	金谷下開渠は、豊田市に鉄道が開通した大正9年(1920)に建設された鉄道用の橋。レンガ造りの橋脚に鋼の桁を渡す構造で、ほぼ建設当時の姿をとどめています。この橋が金谷城跡の堀跡をまたいでいる立地を含め、地域性を示す貴重な遺産です。	歴史	建造物	41	29	11
モノ	廣梅橋旧橋の石造物群	東広瀬町	昭和6年9月に改築された廣梅橋の親柱など8本が、当時の幅員約4mを再現(現在は13m)し、保存されています。不要になった石造物を遺した地元の熱意が素晴らしいです。	歴史	建造物	42	30	1
モノ	道慈山観音寺の千頭絵馬	千洗町	千頭の馬が描かれた大きな絵馬。大正時代に奉納されています。	歴史	地域性	45	30	4
モノ	烏帽子岩	高橋町	若き日の徳川家康が、初陣となる寺部城攻めの際にこの岩の上で指揮をしたとの伝承もある「烏帽子」の形をした岩。形も面白いけれど、若い時の家康がこの岩から軍勢を指揮していたと思えば、この地域の歴史を考えるうえで楽しいと思います。	歴史	地域性	47	30	6
モノ	人造石工法の水制(大出し)	扶桑町	扶桑の水辺公園近くにある水制工。人造石工法(たたき技法の応用)で造られているので、川下にある百々貯木場と同時期の大正時代に造られたと考えられます。「とよたの昔話」の「川ぼうず」の場所もこのあたりと言われているので、昔は川の難所だったと思われます。	歴史	構造物	48	30	7
モノ	旧枝下用水遺構群	枝下町ほか	旧枝下用水遺構群は、その歴史的価値とともに「とよたの高千穂峡」ともいえる美しい景色です。また、先人たちの作った枝下用水遺構群を保全しようと、枝下用水資料室が中心となって地元の方々も参加し、清掃活動が行われていることも素晴らしいです。	歴史	構造物	49	30	8

モノ	津島神社の繭型灯籠	扶桑町	地元の養蚕組合が奉納した「繭」の形をした珍しい灯籠。	歴史	その他	50	30	9
モノ	百善のレンガ塀	百々町	百々町の今井家の煉瓦塀。貯木場が造られた大正時代のものかも。今見ても日本家屋とも似合っていておしゃれです。	歴史	地域性	51	30	10
モノ	日本最古のコンクリート製電信柱で構成された三角錐	平戸橋町	本多静雄氏が通信省に勤めていた際にかかわった日本最古のRC製電信柱を移築し、自宅の庭に造った記念碑的な三角錐。中央にはコレクションの石仏が安置されています。茶室もしつらえた庭の中にコンクリート柱を組み合わせた構造物を設置する妙がオモシロいです。	歴史	建造物	55	30	14
モノ	前洞町の楮	前洞町	古くから手すき和紙業がさかんに行われてた小原地区でも現存最古かもしれない天然の楮です。木の根元の太さ30cm、枝の長さ4mくらい、枝の広がり全体で5mほど。	自然・景観	天然もの	69	2	2
モノ	クルマの町のキッズカート	若宮町	商業施設T-FACEを中心に設置されているキッズカートは、レクサス等の実際のトヨタ車を模した形となっている。ほかのまちから豊田を訪れた方から「さすが豊田市」と感心してもらい、クルマの町ならではの面白いモノと思います。	生活文化	地域性	71	2	4
モノ	寺部八幡宮の奉納絵馬群	社町	寺部八幡宮の舞台には、豊田市在住の芸術作家が平成元年から毎年一人ずつ一枚製作した絵馬が32枚かけられています。日本画のほか、油彩、彫刻等、個性ある絵馬群は見ごたえがあります。	生活文化	地域性	72	2	5
モノ	熊野が松伝承地の碑	松ヶ枝町	昔話の伝承地の碑がコンビニの駐車場の中にポツンと立っています。衣の里の伝承として大切にされていることがわかりますし、擬木の碑がコンビニの駐車場にあることも面白いと思います。	歴史	地域性	74	2	7
モノ	木下信氏の銅像	若宮町	「今二十よりも先四十」という至言とともに産業文化センターの敷地内に立っている木下信氏の銅像は、かつてここが加茂蚕糸の工場であった名残でもあり、トヨタ以前のよたの発展に尽力した個人の顕彰として、忘れてはならないと思います。	歴史	地域性	75	2	8
モノ	観音寺山の石清水	足助町	道路横の岩肌いきなりしつらえてある扉を開けると、そこには岩窟のような所に湧き出ている清水があります。その外観も面白く、昔から伝わると聞きましたが、この水を大きな柄杓でがぶ飲みすると、異性にモテルようになるという伝承も面白いです。	生活文化	不思議	76	2	9
モノ	二度見の黄金母子像	平畑町	寿楽荘付近を散歩すると、山側に何か金色に光るものが視界に入ります。不思議に思い探してみると、金色の母子像がありました。地元の方に確認した範囲では、宗教的なものではないそうですが、詳細は不明。何か面白いことがありそうなものとして推薦します。	生活文化	不思議	77	2	10
モノ	何を物語るのか？・謎の造形物	市内	なぜここに、誰が、何のために、どうしてこの形なのか、など、それを見たときになにか違和感を持つ造形物(基本的に石やコンクリート製などの恒久的なもの)。人が形作ったものならば、何かの意味はあるはず。ただ、その意味不明さが面白い。	歴史・文化	建造物	80	3	2
モノ	どこかで誰かが称えあう・地域有志建立の個人顕彰碑	市内	地域の人たちや団体、有志の集まりが建てた個人を顕彰する碑(主に石碑等の恒久的な材質を想定。仮設的な看板類は除く。創立者を顕彰する企業等の碑を除く。反社会的でなければ何を顕彰しているかは特に問わない)。地域に貢献した人や名士、有徳人など、その人の事績だけでなく、建立した地域の人たちの想いや時代性、地域性などを知ることができる。	歴史・文化	歴史	81	3	3